



季刊誌「むらのおと」
Vol.31
2021.Autumn

vol.31
2021
Autumn



2021年12月1日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎ 054-221-2714 FAX.054-221-2809

しずおかの邑づくり
10周年を
むかえました

Event Calendar

むらとりっぴー
「東海道金谷・菊川・掛川エリア」

my viewpoint
●I(宮の里(森田))

キラリ☆邑びと
●らびりんすゆづ(浜松市)

小谷あゆみのむらレポ Vol.22
●清水区西里(静岡市)

●山田川自然の里(三島市)

●田原地区(磐田市)

●十足伊東市)

●小坂静岡市)

mura note file
むらの声



TAKE FREE

第7回 静岡県 農村の魅力
フォトコンテスト
2022年
1/7 金
応募締切



第6回入賞作品「秋の朝」(御殿場市) 上野祐司

第6回入賞作品
「ノスタルジー」
山崎一城
抜里(島田市川根町)



▲第6回入賞作品
「縄作り体験」/松浦嘉人
久留女木の棚田〜龍宮小僧伝説の邑〜
(浜松市北区)

みなさんが見つけた静岡県内の美しい農山村の写真を募集しています
入選者には賞状と副賞が授与されます。

一般部門

写真データをCD-R等に保存して郵送、
またはメールで応募

応募先 〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6静岡県庁西館9F
静岡県土地改良事業団体連合会内
TEL.054-255-5151

メールアドレス
photocon.shizuoka@gmail.com

ホームページ 静岡県農地保全課
https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-460/index.html

SNS部門

公式facebookに写真を投稿、または
instagramにて、
「#第7回静岡農村フォト」で応募



Facebook



Instagram



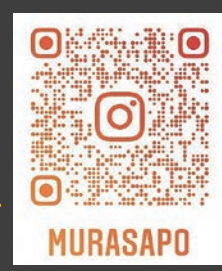
Instagramフォトコンテストも開催中!!

訪れたい、過ごしたい、
農村の知られざる「景観」や「食」の写真・投稿を募集

#むらたび秋2021

2021年
12/31 金
応募締切

詳しくは
「むらサポ」
Instagram
アカウント
をチェック!



むらサポ しずおか
農山村サポーター



オフィシャルウェブサイト
www.shizuoka-murasapo.net
しずおか むらサポ 検索

ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合



オフィシャルウェブサイト
http://www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑 検索



Instagram
www.instagram.com/murasapo/



Facebook
www.facebook.com/muradoki/
ふじのくに美しく品格のある邑づくり
情報発信チーム『邑ドキッ!』

むら
の
と

31
2021
Autumn

CONTENTS

むらの声 mura note file

- 03 **#01** 小坂
(静岡市)
- 05 **#02** 十足
(伊東市)
- 07 **#03** 田原地区
(磐田市)
- 09 **#04** 山田川自然の里
(三島市)
- 11 小谷あゆみのむらレポ Vol.22
清水区西里(静岡市)
- 13 キラリ☆ 邑びと
らびりんすゆうとう(浜松市)
- 14 my viewpoint
一の宮の里(森町)
- 15 むらとりっぷ
【東海道 金谷・菊川・掛川エリア】
●間の宿菊川
●千框の棚田
●こがね色の里
●深蒸し茶と東海道宿場の里 日坂
●東山口・西山口
●報徳・温泉・農業の里 倉真
●茶文字の里 東山
- 17 イベントカレンダー



表紙／敷地村(磐田市)

山から吹く冷たい風で干す枯露柿(ころがき)は地域自慢の特産品です。次郎柿の主産地として森町と並び有名な磐田市ですが、11月には枯露柿干し柿作りが最盛期を迎えます。皮をむいてすだれのように吊るされた枯露柿は、晩秋から初冬にかけての敷地の風物詩です。



しずおかの邑づくり
10周年を
むかえました

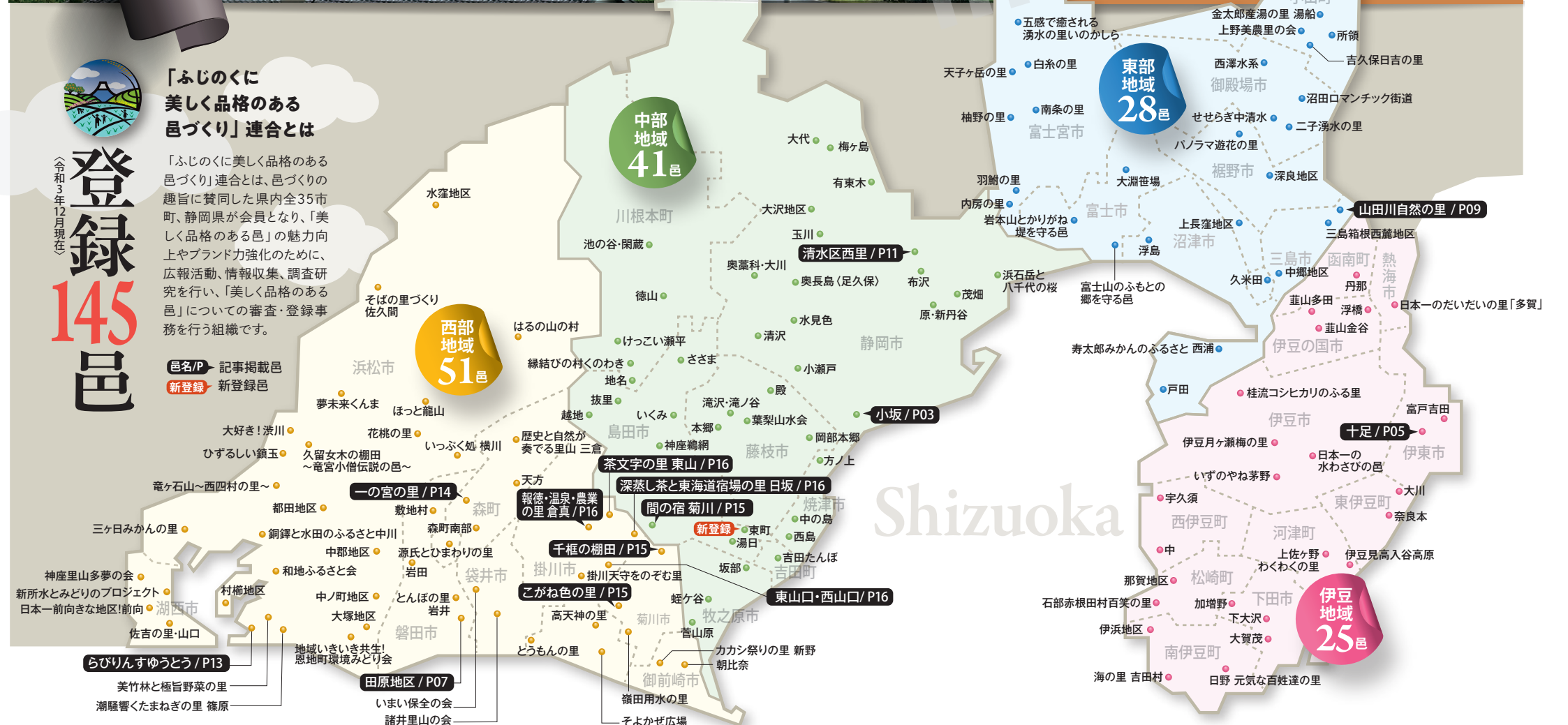


登録
145
邑

「ふじのくに
美しく品格のある
邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑
新登録 新登録邑



ふじのくに美しく品格のある邑って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和3年12月現在で145地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。

周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、145の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

EVENT INFORMATION

小坂の朝市

【毎年12月29日午前8時から】

- 会場／旧・JA静岡市小坂支店
- 内容／みかんなどの地場の果物、野菜、お茶をはじめ、農家自家製のみかんジャムや梅干しなどを販売。



女性部朝市グループの皆さん

「自分たちがやるしかない」。当初はそんな思いだったと小坂環境保全協議会（通称：保全会）代表の大澤さんは振り返ります。小坂の北・西・南には山が屏風のようになんていいます。その斜面に実る「小坂のみかん」は、海の照り返しを浴び、山が西風を遮って、とびきりの甘みとコクを育んできました。斜面に巡らされた農道には、小坂の営みを支える生命線にほかなりません。しかし、急斜面ゆえに軽微な土砂崩れが絶えず起こり、放っておくとすぐ使えなくなり。

農業人口の減少はこも例外ではなく、農道管理も昔のような海戦術だけでは追いつきません。そこで保全会は重機を取り入れ、作業の効率化を図ってきました。農道をふさぐ土砂をバックホウで取り除き、堆積した落ち葉をブローワーで吹き飛ばして、いつも使える状態を守っています。農道からは満観峰へハイキングコースが伸びていますが、その遊歩道も街から人を呼ぶ財産。保全会のメンバーたちは町内会と力を合わせ、草刈りなどの整備を励行しています。

こうした地道な取り組みは各自のふるさと愛をいつそう高め、新たな交流を生み出しました。近隣の小学生たちに田植え・稲刈り・餅つきの農業体験学習を、地域住民にそばの収穫・そば打ち体験を提供。休耕田にそば、レンゲ、菜の花などを咲かせ、周辺の幼稚園児に摘み取ってもらうことも始めました。2021年度はコスモスの種を蒔き、2022年度にはヒマワリに挑戦する予定です。

温暖な小坂には古くから人々が集まり住んでいました。日本武尊も越えたという日本坂から小坂に至るルートは古代の官道「万葉の道」でした。「自分たちが生まれ育った場所だから、自分たちでなければできないことがある」と保全会のメンバーは口を揃えます。「この邑のスローな時間と風景を、外部の人も巻き込みながら、かけがえのない伝統文化として守り、次の世代に渡したい。そして、静岡市街から間近な地の利を活かして、どんどん発信したいですね」。



自然の風味が凝縮した「小坂のドライフルーツ」

みかん、いちじく、ぶどう、いちご、かき、ブルーベリーなど地元で採れた果物を原料に「小坂ドライフード工房」がドライフルーツを加工販売しています。1袋298円。「JA静岡市ブランドショップじまん館」（静岡市葵区沓谷）、「長田じまん市」（同市駿河区鎌田）で購入できます。



知られざる涼感スポット「ひすいの滝」

急峻な岩肌を滑り落ちる「ひすいの滝」は、山へ伸びる農道脇に不意に現れます。静岡市の中心街から車で30分もかからない身近なところに、こんな見事な滝に出会えることに驚かされます。



- ① 満観峰の360°パノラマ。小坂からは初心者でも気軽に登れます。
- ② JAと共同実施している長田南小学校5年生を対象とした農業体験学習。
- ③ そば打ち体験教室で地域住民と交流を深めています。JAウォークラリーではそばを無料で振る舞っています。

海と富士山の一望に癒されてみませんか

邑から山へ車を走らせれば「家康公お手植えみかんの樹」や「ひすいの滝」があり、さらに農道を進むと駿河湾や富士山も見渡せるのどかな景色に出会えます。農道終点からハイキングコースを満観峰まで登れば雄大なパノラマを眼下に収めることもできます。ぜひ気軽にお越しください。

邑ひとメッセージ

大澤卓広さん

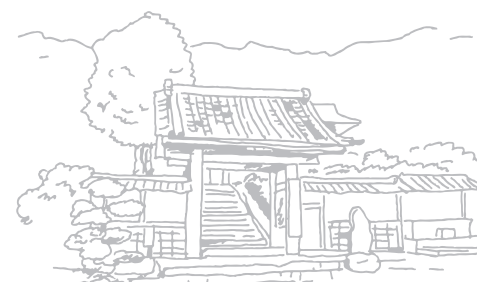
小坂出身。東京農業大学へ進学。11年間の会社勤めを経てUターンし、家業を継ぐ。現在、柑橘類、緑茶、紅茶などの生産に従事。「公害防止管理者（水質第一種）」「日本茶インストラクター」の資格も持つ。



mura note file むらの声 #01

伝統ある「みかんの邑」に未来の笑顔を実らせたい

「自分たちがやるしかない」という思いを根っこに「自分たちがやりたい」夢が芽生えてきました



安養寺に残る「徳川家康公お手植えみかんの記念樹」。鷹狩りの際にお手植えされたものと伝えられています。



静岡市駿河区小坂1021-1
(旧・JA静岡市小坂支店)

- 車／JR静岡駅から約20分、東名高速静岡ICから約15分
- 電車・バス／JR静岡駅からしずく街バス・バス小坂公民館前行き「小坂公民館前」下車



明治後期から山の斜面に石を積み、石段を築いて栽培されてきた「小坂のみかん」。急傾斜地で育つみかんは、水はけのよさと海の照り返しの恩恵を受け、濃厚な甘みとコクに恵まれます。

たわわに実ったみかん畑と小坂環境保全協議会のメンバー。町内会長の糟屋さん(右から3人目下)も同じ志の持ち主です。

貴重な農村の原風景 美しい水田の景色を守る邑

四季折々の美しい水田
里山の風景を守りながら後世にも語り継ぐ



伊東市十足

●車 / 新東名高速長泉沼津ICから国道136号、県道12号線中伊豆バイパスで約30分

●電車・バス / JR伊東線伊東駅から東海バス十足広場行き「雲龍寺前」バス停下車



小川ファーム野菜直売所

小川代表が運営する直売所。新鮮な季節の野菜がお手頃に手に入ります。100円玉を用意して訪れてみて。

●伊東市十足292-4
●時間・休日不定期



見に来て!



十足は市が設定した里山をめぐるウォーキングコースにも含まれ、四季折々の田園風景が楽しめます。初夏には街道沿いのネムノキが花をつけます。彼岸花の群生地があるのは「引手力男神社」周辺。鮮やかな赤色の大輪の花は、9月下旬から2週間ほどが見頃。一輪一輪を愛でながらゆったりと散策するのがおすすめです。



①広い範囲の草刈りはとても大変ですが、邑びとが力を合わせて進めています。
②水路の整備も会のメンバーで行います。十足地区には水源が少ないため、北西部にある松川湖の上流から水を引いています。

2



1



水をたたえた田んぼ（田植えの直前と田植え直後）は、まるで鏡のように周囲の緑を写し出します。



観光客で賑わう温泉の街・伊東市のほぼ中央に位置する十足には、貴重な農村の原風景ともいえる美しい水田景色が広がります。水田の脇をクネクネと蛇行する水路や、スッキリと管理された歩きやすいあぜ道は、かつてはどの水田にもあったはずの景色ですが、近年では農業の効率化により、このような昔ながらの景観は、ほとんど見かけなくなりました。

十足のある地域は、大室山の噴火で生まれた溶岩台地です。そこに粘土を運び入れ、現在の水田を築き上げました。十足の水田は水の管理が難しい上に、どの水田も小

風情ある街道に咲く季節の花を楽しんで

みんなで協力して、水田のある邑の景色を維持しています。十足には中伊豆と伊東の海を結ぶ街道が通っており、100年以上も前に植えられた彼岸花が、この地を往来していた人々の目を楽しませていたといいます。大室山、天城山、遠笠山、矢筈山を望み、四季の移ろいとともに景色がゆったりと変わっていく風情も楽しめます。ぜひ足を運んでみてください。

邑びとメッセージ

小川康仁さん

十足で生まれ育つ。十足農地と水田の会代表。年間100種類以上の野菜を育てる。直売所を運営。



さく、機械による作業がしにくいという難点があります。また、地域の高齢化も進んで、耕作放棄地が増えてきました。しかし、十足の貴重な景観を失いたくないと考えた邑びとたちは、美しい水田を守るため、平成19年に十足周辺の農家を中心に「十足農地と水田の会」を発足させました。以来、遊休地の草刈りや水路の整備などの活動を無理のないペースで行っています。作業をする日は、地元JAのスタッフをはじめ、地域を支える若手と交流する良い機会にもなっています。

秋になると、水田のあぜ道に深

紅の彼岸花が咲き誇ります。もともと数多く自生していた彼岸花を、邑びとが新たに植栽したそうです。大輪で色濃い花を咲かせるために、除草剤を使わず、定期的に草刈りも行います。草を短く刈り過ぎると育ちが悪くなると気付いてからは、草刈りの時期や刈る方法にも工夫を凝らしています。

この彼岸花を見に、毎年必ず訪れる人たちが大勢います。あえてお祭りやイベントを開催しないのは、自分のペースでゆっくりと散策してほしいから。邑びとの素朴な優しさ、秋の豊潤な大地の景色を彩ります。



「1支店1共同活動」を推進する地元JAの協力を得ながら、会の活動に取り組んでいます。



67 玉越、西島など、7地区からメンバーが集まり、地元環境整備や交流活動続ける「田原みどりの会」のみなさん。

目に来て!

田原水車の里

田原小学校の卒業生が地域の人たちと製作した水車が並ぶ広場。すぐそばを流れる古川（昔の太田川）から水をくみ上げ、水車が回ります。あずまややベンチなどが整備され、珍しい野鳥が訪れ、春には満開の桜が目を楽しませてくれます。

静岡県磐田市三ヶ野（田原交流センターの南側）毎日7:15～11:30、13:00～17:00に水車が回る。



のんびりとした景色の中を歩いて

東海道五十三次の袋井宿と見付宿の間にある田原地区。地区内には旧東海道があり、松並木が当時の面影を残しています。また、鎌倉時代の古道から現代の近代的な道路までを一カ所で見られる七つ道もおすすめ。のどかな風景が今も残る田原地区を、ぜひ散策してみてください。

邑びとナッセージ

鈴木房雄さん(左)

農家として米づくりやお茶づくりに励む。田原みどりの会では会計として組織を盛り上げる。



永田英夫さん(中)
田原みどりの会では副会長を務める。磐田市農業委員会会長として農業振興に貢献。稲作やトルコギキョウの栽培も。

鈴木卓伯さん(右)
公務員を退職後、田原みどりに参加して書記を務める。一日の終わりに飲む焼酎が楽しみ。

磐田市の東部を流れる太田川の両岸には、昔から変わらない田園地帯と、工場などが建ち並ぶ磐田原台地があります。台地には工場で働く人たちが暮らす住宅街も共存し、田原地区を形成しています。

そんな田原地区で12年ほど前、地元の農家を中心に「田原みどりの会」が発足しました。地域の農業用排水路の整備、水路や農道などの草刈りといった活動を続けてきましたが、発足当初から農家の高齢化に伴う担い手不足と、遊休農地の増加に頭を悩ませていました。そこで近年、地元のJAや交流センター、田原小学校、田原幼稚園などと連携し、野菜の栽培や

稲作の体験を始めました。

田原小学校のすぐそばにある遊休農地では、小学1・2年生はサツマイモを、3年生は大豆を栽培。5年生はバケツを使ってもみまきや田植えをしたり、秋には田んぼで収穫した稲を古い足踏み脱穀機で脱穀したりと、米づくりを体験しています。「コロナ禍でさまざまな体験学習が減る中、地元の大人たちと一緒に学べる貴重な機会になっています」と、活動の意義と感謝を述べるのは、田原小学校の鶴田校長。「児童や園児は孫みtainな存在。子どもたちが楽しんでいる姿を見ると、こちらも元氣になります」と田原みどりの会のメンバーも目を細めています。

住宅地が広がり、核家族も増えている田原地区は、田畑がそばにありながら、子どもたちが自然や農業に触れる機会が意外に少ないといえます。その中で地域が結束し、子どもたちを見守り、育てようという雰囲気は、地区の未来を明るく照らしています。

「夏祭りや運動会といった地域イベントの再開は時間がかかりそうなので、今は無理をせず、活動を長く継続していくことが大事だと思っています」と語るのは副会長の永田さん。農家になりたいと言っている児童も現れた田原地区では、子どもたちが大人になっても変わらない景観を守る「田原みどりの会」の活動が続きます。



6月に苗を植えたサツマイモ（紅はるか）を会員のひとたちと収穫体験する田原小学校の1年生。

mura note file
むらの声 #03

大切な景色を次世代につなぐため
地域農業の担い手の育成や
持続可能な農村環境を目指す

**住宅地のそばに広がる
のどかな田園風景と
地域の絆**

①田原みどりの会が司会を担当し、体験学習を振り返ります。子どもたちの疑問には地元JAのスタッフが答え、学びを深めています。

②ハウスでの野菜栽培・収穫・出荷作業を体験した児童から贈られた、感謝の手紙と手づくりのメダル。

③スタッフの指導のもと、バケツを使った田植えや収穫した稲の脱穀を体験。農業の大切さを学ぶとともに、農業の担い手を育てるきっかけにもなっています。

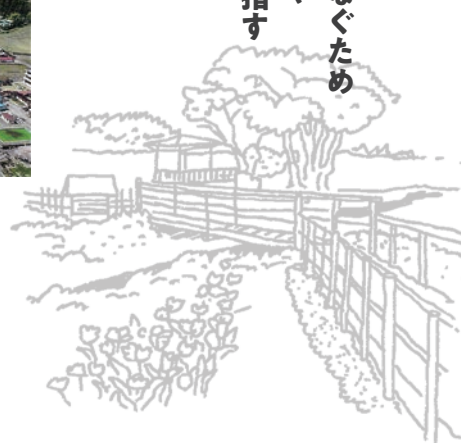
④田畑や小学校の向こうに、工場やスーパー、住宅地が広がる田原地区。



田原地区
たはらちく

磐田市三ヶ野1045-3（田原交流センター）

●車／東名高速磐田ICまたは袋井ICから約10分
●電車・バス／JR御厨駅から車で約5分。JR磐田駅から遠鉄バス見付磐田営業所行「磐田営業所」下車（約15分）、徒歩約25分



EVENT INFORMATION

【開催時期はHPにてご確認ください】

野鳥観察会

落葉した冬の山田川自然の里では、たくさん野鳥が飛来。邑では野鳥観察会を行っています。



タケノコ掘り体験

冬の間に整備した竹林に生えるタケノコを、収穫体験イベントで、地域の人と楽しみながら掘り起こします。



みんなで棚田づくり

小さな棚田では、春の田植えから秋の収穫まで、みんなで取り組みます。

じゃがいも植えたよ サトイモ掘れたぜ 大根収穫

春にジャガイモの苗を植えたり、秋にサトイモや大根を収穫したり。子ども達の農業体験は、山田川グリーンツーリズム研究会を中心にみんなでを行っています。



落ち葉遊び

カサカサと音が心地よい落ち葉を集めて遊ぶ子どもたち。ボランティアが企画する自然体験では、いつも子どもも大人も大はしゃぎ。



笑顔と自然があふれる和みの邑です

ここ数年、邑を訪れる親子連れが増えています。特に夏は、せせらぎで遊ぶ子ども達のたくさん笑顔を見ることができて、活動の励みになりました。皆さんの心の癒やしの里になっていることを、とてもうれしく思います。ボランティアの皆さんは、それぞれが得意なことを発揮し、楽しみながら作業をしています。みんなで手入れをしている美しい里山を体験しに、ぜひ遊びに来てください。

邑びとメッセージ

加々見勝八郎さん

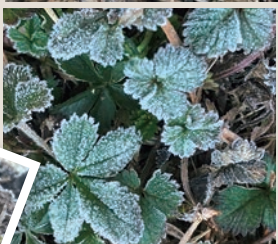
山田川グリーンツーリズム研究会の会長を務める。山田川自然の里の開拓時からの中心人物。含蓄に富み、行動力のある姿勢が、市民ボランティアをはじめ、多くの人から慕われている。

秋にはコナラやクヌギをはじめ、広葉樹の紅葉が見事です。落葉後は、野鳥の姿がよく見えるので、バードウォッチングもおすすめ。山田川グリーンツーリズム研究会は、冬にもイベントや体験会を実施。田んぼでは脱穀後の稲をわら切りで切り、クワを使って土に還します。イベントはブログ内で告知しています。



山田川自然の里ブログ
(やまぐり通信)

※参加申込方法等については各募集記事をご覧ください。



箱根西麓の森林を源流にする山田川。透明できれいな水が流れる川の両岸に「山田川自然の里」があります。30年近く耕作が放棄されてきた流域の急峻な山間を、三島市農政課、市民ボランティア、地主らが一体となって開拓してきました。里の中に延びる1.5kmの散策路を進むと、棚田や畑、梅林、竹林、クヌギやコナラなどの広葉樹林が次から次へと現れ、昔ながらのどかな農村風景と豊かな自然が楽しめます。路の途中には滝や湧水があり、水遊びのできるせせらぎもあちこちに点在。夏には子どもたちの楽しげな声がかたまります。管理棟に置かれた季節のイラストマップを片手に歩くと、より身近に自然を感じます。

この邑を守るのは、山田川グリーンツーリズム研究会（通称やまぐり）の皆さんです。景観維持や環境保全のため、40名ほどのボランティアが集まり、年間を通じて里山づくりをしています。平日には里山を、週末には棚田を整備。イベントの企画や運営も行っています。イベントは、未就園児対象の「おひさまはらっぱ」、年中・年長対象の「どろんこはらっぱ」、小学1〜3年生対象の「わんぱくおしごと隊」など、年齢に合わせた親子自然体験が人気です。田植えや稲刈りができる田んぼ体験、種まきから収穫ま

で行う農業体験など、季節ごとのイベントも実施。収穫した米を羽釜で炊き、おむすびにして食べたり、掘ったサツマイモを焼き芋にして食べたり、食育にも力を入れています。秋には紅葉した木々が落葉し、田んぼや原っぱ一面が枯れ葉色に。落ち葉を踏みカサカサという足音が耳に優しく、散策がより楽しくなります。落ち葉は、冬の間に山や川の中でゆっくり朽ちて、山の命の源になります。そんな自然の循環を身をもって体験できるのも、この邑の大きな魅力です。



わずか1.5kmほどの散策路ですが、景色が次々と変わり、大人も子どもも飽きずに歩けます。清々しい空気に心が磨かれるようです。



棚田や畑、竹林、梅林、広葉樹林など里山の風景が次々と現れる邑では親子で楽しめるイベントが大人気



三島市川原ヶ谷・塚原新田地内
(川原ヶ谷943-1) ほか

- 車／伊豆縦貫道三島加茂ICから約10分
- 電車・バス／JR三島駅から東海バス「元箱根港」行き「塚原」バス停から徒歩約10分



「西里おもしろ不思議散策MAP」静岡トヨタ自動車と常葉大学の学生が協力して作成



るゆるやかなつながりです。米をはじめ、小麦、大麦、そば、さつまいもなどの栽培からビオトープまでみんなで育むコミュニティ農園のスタイルです。

参加する人たちの9割は、幼稚園など小さな子を持つご家族で、あとの1割は65歳以上のリタイア世代。ファミリーのほとんどは子どもが中学に進学する頃を境に途絶えてしまうそう

清水区西里
しみずくにしざと

静岡市清水区西里

●車／新東名高速清水ICから20分、東名高速清水ICから25分

●電車・バス／JR清水駅または興津駅からバス「但沼車庫」行き乗車。但沼車庫にて両河内自主運行バス（日祝休み※要予約）に乗り換え、但沼系統「西里温泉前」下車



お母さん達が植えたさる菊が店先を彩ります。(左)地元産の手づくり梅干しは根強い人気商品(右)「笑味の家」の営業時間は10:00～15:00、月曜定休※祝日の場合は翌日(静岡市清水区西里1308-2)

都会がむらを求めている課題を宝に商品開発を

黒川沿いにはキャンプ場が2つもあり、自然を満喫したいというアウトドア需要の高まりに応えています。緊急事態宣言下でも、この無料のキャンプ場には、都会から3密を避けてやってくる人が途絶えなかったそうです。令和8年度に中部横断自動車道の両河内スマートICの開設計画が決定したため、更にアクセスが良くなります。

キャンプ客に向けて、なにか新しいサービスや商品を生み出したいですね。豊かな自然、心の癒し、ストレスフリーな農村空間を求めている人たちに、里山資源を生かしたアイデアで、お互いWinWinになる商品の開発を期待しています。

またNPO複合力では、休耕田で栽培した無農薬・無化学肥料の大麦を主体にしたクラフトビール「両河内エール」(580円)を販売していますが、1回の生産が100ℓほどと小ロットのため、県内に醸造所が見つからず、島根県の業者へ頼んでいます。それゆえ送料がかかり赤字だということです。県内によい醸造所はないでしょうか。事業者のみならず、農村と連携した商品づくりは最大のSDGsかつ地域貢献です。是非ご協力をお願いします！

里山の資源を使って様々なものづくりや活性化に挑み続ける西里のみなさん。小さな仕掛けのたくさんある邑は、きつと内外の人にも魅力的に映りますよ！



左から加藤伸一郎さん、村上勝さん、真田学さん、村上みささん

「農村ならではの」を商品化する清水区西里

西里のよさを知ってもらおう 農業体験から仲間づくり

清水区西里は黒川沿いにのどかな田園風景が広がり、美しい石垣の田んぼと畑、豊かな緑に囲まれた里山です。

むらの中心には温泉があり、手打ちそば処「たけのこ」、手づくりコロケやおまんじゅうが人気の「笑味の家」は地元のお母さんたちが週6日集まって、月曜以外毎日営業しています。また、季節の地元食材をふんだんに使った森のジェラートショップ「como」にはヤギやニワトリまでいて、地域みんなの癒しに「役買」ついています。

この「美しく品格のある邑」を保ち続けているのは、わがむら両河内を愛する「西里コミュニティサークル」のみなさんです(約100人が活動)。平成19年から草刈りなど農地保全活動を始め、平成24年にはNPO複合力を立ち上げました。

少しでもにぎわいを取り戻したいという西里自治会長の真田学さんと、コミュニティサークル代表の村上勝さん達の思いから、休耕田を借り受け、「米作りボランティア活動」も始めました。内外の人を巻き込んで、みんなで耕す田んぼです。

NPO複合力の活動を担う加藤伸一郎さんによると、8年間の活動の中で、農業体験やボランティアに来る会員の数は200組を超えました。メールでその時期ごとの作業内容と日程を案内すると、都合の合う家族が参加す



外国人が見た邑のあれこれ my viewpoint

不思議（ふしぎ）な 感（かん）じがする
小國神社（おくにじんじや）の参道（さんどう）

ふくろいえき きた はし すこ め まえ
袋井駅から 北へ 走ると、少しずつ たんぽが 目の前に
広がります。きれいな コスモスの 花に 迎えられ、
今回は 森町の「一の宮の里」を 取材しました。

自然とともに暮らす 美しさ

いちみや しょうかい どうが きょう たね み いちみや
一宮の 紹介動画、「今日も 種をまく」を 見ました。一宮の
人たちは、季節が 変わるとに あわせて お祭りなどを 行
い、育てる 野菜を育てるなど 季節を 大切にしています。
日本人と違い ブラジル人は、自然や 季節との つながりは、
それほど 深くありません。四季が はっきりしていないため、
季節が 変わっても どんな花も いつまでも 咲き続いて、自
然が 変わることを あまり感じられないのです。だから 一宮
のように 人生と 自然の つながりの 美しさを見るのは 大
変 感動します。

次の子どもたちに つなげ 守るために

この邑では ひとつの 同じ たんぽで 季節によって 育て
るものを変えます。お米の 次は、レタス、その次は ト
ウモロコシ、それが終わったら また お米と 1年に 3つの
違うものを 1つのたんぽを 使って 育てます。その仕事
を 少し(苗を 植えること 芋を 掘ること など) 一宮の
子どもたちにも 手伝ってもらいます。「小國神社」の 近くに
住む 子どもたちは、祭りの 前に、1週間、神社に みんな



静岡県 国際交流課 国際交流員
スティーブ・ブソン ヒュー
【南アフリカ共和国】



静岡県 環境部
多文化共生課 国際交流員
チアゴ フェルナンド【ブラジル】



レタス（れたす）を 育（そだ）てる 準備中（じゅんびちゅう）の たんぽと一緒に（いっしょに）撮（と）った写真（しゃしん）。
左（ひだり）から 高木正和（たかぎまさかず）さん、スティーブ・ブソン・ヒューさん、チアゴ・フェルナンドさん、榎原淑友（さかき
ばらよしとも）さん、加藤修（かとうおさむ）さん

今回はやさしい日本語を使って邑を紹介します！

「やさしい日本語」は、難しい言葉と言
い換えるなど、相手に配慮したわかりや
すい日本語のことです。外国人や、子供
に伝わりやすい表現方法の一つです。



YouTube
「話そう、やさしい日本語。」

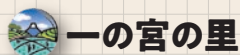


美味（おいしい）
みたらし団子（だんご）。
また来（き）たい！

で 泊（と）まり 古（ふる）くから 伝（つた）わる 隔（おど）りなどを 覚（おぼ）え、隔（おど）ります。
「一宮の 水（みづ）と 環境（かんぎょう）を 守（まも）る会（かい）」の 榎（え）原（はら）会長（かいちょう）は、このよう
な 取組（とくぐみ）で 邑（むら）の お祭り（まつり）や 農業（のうぎょう）の 技術（ぎじゆつ）を 次（つぎ）の 子どもたち
へと つなげていって欲しい。そうして 一宮（いちみや）の 文化（ぶんか）と 歴（れき）
史（し）を ずっと先（ま）まで 守（まも）りたいと 強い 気持ちで 話（はな）して くれ
ました。（文：チアゴ）

不思議な 感じがする 神社の 参道

ひ しず はじ ごろ おくに じんじや まい い
日が 沈（しず）み始める頃（ころ）、小國神社（おくに じんじや）に お参（ま）りに 行（い）きました。
神社（じんじや）には 1400年以上の 歴史（れきし）があります。とても大きな
石（いし）の 鳥居（とりい）を 通（とお）ると さらに 大きな 杉（すぎ）の 木（き）が 並（なら）ぶ 道（みち）が
広がります。この道（みち）を 歩（ある）くとき、とても 不思議（ふしぎ）な 感じ（かんじ）が
しました。お参（ま）りした後（あと）、神社（じんじや）の 前（まえ）の お店（みせ）で みたらし
団子（だんご）を 食（た）べました。甘（あま）じょっぱくて、とても 美味（おいしい）かつ
たです。小さな 息子（むすこ）を 連（つ）れて、家族（かぞ）で また来（き）たい場所（ばしょ）
が できました。（文：ヒュー）



周智郡森町
いちのみやのさと

●車／東名高速袋井ICから20分、磐田ICから25分、新東名高速森掛川ICから10分
●電車／バス／天竜浜名湖鉄道 遠江一宮駅下車

遠江國一宮の小國神社があり、春は桜や菖蒲、夏はホタルが飛び交い、秋は紅葉といった見どころがあり、農村風景とともに美しい景観があります。宮の市や明神通などで地元農産物の直売や食事を提供していて、地元住民と来訪者との交流により活性化が図られています。

稲刈（いねかり）の
作業（さぎょう）を見（み）る。
ここで、次（つぎ）は
レタス（れたす）を
育（そだ）てる



一宮（いちみや）を紹介（しょうかい）する
YouTube動画（どうが）「今日（きょう）（きょう）も
種（たね）をまく」を見（み）て、邑（むら）の
くらしについて 知（し）る



キラリ★邑びと

新たな取組みで地域を盛り上げる邑びとを紹介します！
今回は農業の傍ら地域活性化に取組む
加茂さんに話を聞いてきました！



らびりんす
ゆうとう

浜松市西区雄踏町宇布見5427
（雄踏文化センター）

●車／東名浜松西インターから20分（県道65号）
●電車／バス／JR浜松駅から遠鉄バス
山崎行き「雄踏図書館」下車（35分）、
徒歩10分 または、JR舞阪駅から遠鉄
バス「雄踏中学入口」下車（10分）、徒
歩10分

知事賞章授与式の様子。
表彰を受ける加茂さん。



地域活性化イベント
「すこコン祭」の様子



子どもたちがいつでも
戻ってこられる
故郷を目指して

らびりんすゆうとう 代表
加茂 博子さん

ゼロから農業をスタート
らびりんすゆうとうの代表を務
める加茂さん。結婚を機に、地域を
転々とする生活を送っていました
が、農家をしていたお父さんの病氣
をきっかけに、2002年に地元の
雄踏町に戻り、夫婦で農業を始めま
した。農業の経験は、小さい時にお
手伝いをしていくくらいで、最初は
右も左も分かりませんでした。地
域の方々に教えてもらい、夫婦で切
磋琢磨しながら20年。目指すは、
美味しく、環境にも優しいお米
づくり。娘さんも一緒に、家族3人
で浜松のブランド米「やらの米（ま
い）か」の生産に取り組んでいます。
「やらの米」は、化学農薬と化学肥料を半分以下
に抑えて特別栽培により生産したお米

地域を楽しく、賑やかに
加茂さんは本業の傍ら、地域活
性化にも積極的に取り組んでいます
。2010年に地域活性化プロ
ジェクトとして発足した「らびりん
すゆうとう」では、2019年から
加茂さんが会の代表になり、色々
なイベントを継続的に開催してい
ます。
イベントの1つが、毎年12月に開
催している「すこコン祭」です。雄
踏町で古くから行われ、約50年前
に途絶えた伝統行事を、2009
年に現代風にアレンジして復活さ
せました。昔の良きもの、大切だっ



「田んぼアート2021」
ドローン撮影



美しい田園風景



田んぼアート「田植え」
後の集合写真。コロナ禍のため
関係者で田植えを実施

多様な主体との協働を
2019年から、同じ雄踏町に
たものを未来に伝えていきたい、と
いう思いで実施していて、年代を超
えた楽しいコミュニケーションの場
となっています。
2020年からはJAと連携し
て「田んぼアート」を開始しまし
た。アートのモチーフにはキツネを
採用し、これまでと違った発信で
「すこコン」の風習を伝えていま
す。今年で2年目を迎えた田んぼ
アート。加茂さんは「小さい子ども
からお年寄りまで、楽しみに見に
来ってくれる姿がうれしい」と微笑
みます。アートが見頃を迎えると、
新聞などにも取り上げられ、雄踏
町の魅力が、「すこコン」の風習と
ともに広く発信されています。

あるダイワロイアルホテル「THE
HAMANAKO」と「社一村し
ずおか運動」を結び、協働活動の
実施に向けて動き出しました。今
後は、宿泊プランとして、タケノコ
掘り体験や、稲刈り体験などの食
農体験を提供する計画です。地域
内での結びつきを強化しながら、
地域資源を有効活用し、魅力発信
にも力を入れていくようです。
女性農業者として地元農業の価
値向上と、地域活性化に貢献して
いる加茂さん。これまでの取り組み
が評価され、『令和3年度 男女共
同参画社会づくりに関する知事褒
章 チャレンジの部』を受賞されま
した。これからの子どもたちが「雄
踏が大好き！」と思い、いつでも
戻ってこられる故郷を目指して、挑
戦は続きます。

5

春の訪れを告げる梅園で
人の温もりを感じて



東山口・西山口 梅まつり(掛川梅園こちの里)

こちとは、東風(都から吹く風)のこと。春の東風は、東山口から梅の花とともに季節の訪れを告げます。梅の花は、例年2月中旬から3月上旬に見頃を迎え、梅まつりでは甘酒やおしるこのサービス、地場産品の販売、フリーマーケット、バンド演奏などにぎわいます。※令和3年度の梅まつりは中止。梅まつり開催日以外も見学は自由。



掛川市伊達方
☎0537-27-0121
(JA掛川市東山口支所)
●交通/車:東名高速
掛川ICから約20分



地場産品の販売や来場者でにぎわいます。

4

歴史探訪!今も残る日坂宿の面影

深蒸し茶と東海宿場の里 日坂宿

日坂宿は東海道五十三次の25番目、街道の三大難所の一つ、小夜の中山の西麓に位置します。1843年の記録によると、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠屋33軒、人口750人の小さな宿場町でしたが、現在も旅籠屋、土蔵、常夜灯などが残り、家々も往時の屋号を掲げ、町ぐるみで遺構を保全しています。

掛川市日坂 ☎0537-21-1121 (掛川市観光交流課)
●交通/車:掛川駅から約20分
電車:バス:JR掛川駅北口7番乗り場から掛川バスサービス東山線「八幡宮前」下車、信号機左折



江戸時代の面影を遺す数少ない建物です。

Mura trip in 東海道 金谷・菊川・掛川エリア

「ふじのくに美しく品格のある邑」をエリアごとに案内する「むらとりっぷ」。今号は、豊かな自然と悠久の歴史があふれる東海道 金谷・菊川・掛川エリアを紹介いたします。のんびりと散策を楽しみながら、優しい季節の風に吹かれてみませんか。



1

間の宿 菊川 諏訪原城ビクターセンター

諏訪原城跡は、戦国時代の東海道における、戦略上の要地にあります。武田信玄が砦を築き、その後天正元(1573)年、遠江侵攻の拠点、徳川氏に対する備えとして、信玄の子・勝頼が家臣に命じて牧之原台地に山城を築きました。戦国時代に思いをはせて、歴史散策をしてみてもは?



島田市菊川1174
☎0547-36-7967 (島田市博物館課)
●時間/10:00~16:00 ●休日/月曜(休日の場合は直後の休日以外の日)、12月29日~1月3日 ●料金/無料
●交通/車:東名高速相良牧之原ICから約20分 電車:バス:JR金谷駅からバス菊川神谷城線「諏訪原城」バス停下車

2

千框の棚田 あぜ道アート



菊川市上倉沢にある千框(せんがまち)と呼ばれる棚田のあぜ道に、およそ1,300本のろうそく、60本のたいまつを立て、棚田の夜を演出します。夕刻、ろうそくに火が灯ると、水面にゆらゆらと光が浮かび、幻想的な光景が広がります。この美しさは必見です。

菊川市倉沢1121-1 (上倉沢公会堂)
☎090-3251-1390
(NPO法人 せんがまち棚田倶楽部)
●時期/3月下旬頃
●交通/車:東名高速相良牧之原ICから約10分

3

こがね色の里 田んぼアート菊川



色の異なる古代米を使って、水田に巨大な絵を描く「田んぼアート」は、田んぼアート菊川実行委員会(地元有志、JA遠州夢咲)と市観光協会が地域の活性化などを目的に、2008年から実施し、今年14回目を迎えました。全景を見渡すなら、やぐらからの鑑賞(有料)がおすすめ!

菊川市下内田稲荷部地区
☎090-7910-7296
(田んぼアート菊川実行委員会)
●時期/大鑑賞会(6月中頃~8月中頃)、ライトアップ鑑賞会(7月頃)
●料金/やぐら鑑賞 入場料200円
●交通/車:東名高速菊川ICから約10分

水田をキャンパスに見立てた
田んぼアート!



やぐらから鮮やかに色づいた稲穂を鑑賞!

7

眼下に広がる広大な
茶畑を見に行こう!

茶文字の里 東山 粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス

標高532mの粟ヶ岳は「茶」の文字の山として有名。晴れた日は山頂から、世界農業遺産・茶草場農法が培ってきた茶園をはじめ、富士山、駿河湾、南アルプスなどが一望できます。山頂のテラスまでは道幅が狭く、車のすれ違いが困難なため、麓の「東山いづく処」から約1時間のハイキングコースがおすすめ!

掛川市東山1051-1
☎0537-27-0845 (粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス)
●時間/お茶カフェ、フジテラス、展示・多目的スペース 10:00~16:00 ●休日/月曜、荒天時は休み ※「パノラマテラス」「グラステラス」「スカイテラス」は常時一部利用可
●料金/無料 ●交通/車:東名高速掛川ICから約35分 または 新東名高速島田金谷ICから約30分 電車:バス:JR掛川駅北口7番乗り場から掛川バスサービス東山線東山行き終点「東山」下車(約40分)



テラスからの眺めは最高です!

6

「ふるさとの森」
再生に向けた多彩な活動

報徳・温泉・農業の里 倉真 時ノ寿の森

NPO法人「時ノ寿の森クラブ」は、森を守り、森を楽しみ、森と共生する暮らしを広め、「ふるさとの森」を未来の子どもたちに引き継ぐことを目指しています。森林保全活動のほか、子ども向けの体験・観察イベントなどで普及啓発活動を行い、ゲストハウスの営業により都市部への魅力発信にも努めています。



掛川市倉真7021
☎0537-28-0082 (NPO法人時ノ寿の森クラブ)
●交通/車:東名高速掛川ICから約30分



※活動の情報はホームページでご確認ください。



植樹、育樹、伐採などの森林保全活動を行っています。

今年度は中止となりました。次回開催をお楽しみに



三島箱根西麓地区
中郷地区
12月上旬
第29回JA三島函南農業祭
(畜産祭り)
農産物品評会、三島箱根西麓及び中郷地区を含む三島・函南津久野農産物即売会等
▲長伏公園
三島市長伏274-1
☎三島函南農協 総務課
☎055-971-8211

浜松市
そばの里づくり 佐久間
1月予定
第24回佐久間新そば祭
地元佐久間はもちろん市内他地区と福島県のそば粉を使ったそばの食べ比べ。そば打ち体験、そば打ち名人による実演会、他地元物産品販売を実施。
※コロナ禍を考慮し今年度は中止

▲浜松市天竜区佐久間町
佐久間429-1
☎NPO法人がんばらまいか佐久間
河村秀昭 ☎053-965-1100

浜松市
夢未来くんま
2月20日(日)
大寒謝祭
くんま水車の里の広場に集落団体のテントが並び、物産を販売。主催者企画の競争コーナーやしし鍋のサービスも。※コロナ禍を考慮し今年度は中止
▲くんま水車の里 浜松市天竜区熊
☎夢未来くんま ☎053-929-0636



富士宮市
白糸の里
2月23日(水・祝)
第6回富士山白糸平成棚田祭り
富士山の日に平成棚田に3776本の竹灯籠を飾り、農業を継続できることに感謝するお祭り。※残念ですが今回は中止します。来年をお楽しみに。
▲富士宮市原平成棚田



February 2月~

焼津市
方ノ上美農里
2月下旬 桜苗木植樹
農道の道路脇に河津桜の植樹を行う。
▲閻魔堂(集合) 焼津市方ノ上
☎方ノ上美農里事務局・平井 ☎054-629-1607
●参加無料
◎マスクの着用をお願いします。

森町
一の宮の里
2月3日(木) 節分祭
※一般の方の参加は検討中(決定時期は未定)
年男年女の奉仕者による豆まき行事
▲小國神社
周智郡森町一宮3956-1 ☎無料駐車場あり
☎小國神社 ☎0538-89-7302



浜松市
ほっと龍山
2月13日(日) 10:00~15:00
七草かゆ 味噌づくり いちご大福
七草粥の食体験、味噌づくり体験、いちご大福づくり
▲ドラゴンマ加工場
浜松市天竜区龍山町瀬尻
☎ドラゴンマ加工場 ☎053-968-0011
●要事前申込 ●参加費3,500円(昼食、材料費)
10歳未満2,000円

浜松市
和地ふるさと会
2月中下旬~3月上旬 ※感染拡大により中止可能性あり
東大山河津桜まつり
花川の堤に植えられた河津桜400本が見ごろ。土日は地場野菜の販売。今年は駐車場、トイレなど用意、規模縮小で開催予定
▲大川地区の花川堤西区和地町地内
浜松市西区大山町
☎無料駐車場200~400台(案内看板あり)
☎和地ふるさと会(担当:会長 野中真八郎)
☎090-3483-9494
◎密を避け、消毒、スタッフのマスクの着用を実施しています。



January 1月~

森町
一の宮の里
1月1日(土) 初詣
大晦日から多くの初詣客で賑わう。
▲小國神社
周智郡森町一宮3956-1 ☎無料駐車場あり
☎小國神社 ☎0538-89-7302



森町
一の宮の里
1月3日(月) 田遊祭
一年の豊作を祈願する神事芸能
▲小國神社 周智郡森町一宮3956-1
☎無料駐車場あり ☎小國神社 ☎0538-89-7302

浜松市
三ヶ日みかんの里
1月9日(日) 農協祭
JAみかびにて開催。地元農産物の品評会や加工品等の展示を予定
▲三ヶ日町農協本所構内
浜松市北区三ヶ日町 ☎無料駐車場あり
☎三ヶ日町農業協同組合 組織広報課(吉野)
☎053-525-2215
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

川根本町
緑結びの邑くわのわき
1月上旬 佐澤薬師堂祭典
良縁祈願として伝わる佐澤薬師堂の、年に一度の御開帳
▲佐澤薬師堂 川根本町久野脇
☎坂本政司 ☎090-5860-1032



森町
天方
1月上旬~2月中旬 ろうばい見頃
鯉梅の花が見頃を迎える。
▲アクティ森
周智郡森町問詰1115-1 ☎無料駐車場あり
☎アクティ森 ☎0538-85-0115



浜松市
久留女木の棚田~竜宮小僧伝説の邑~
12月12日(日) 13:30~16:00
収穫祭
※実施はHP、SNSで確認をお願いします
耕作者やサポーター、その他、久留女木の棚田を応援してくださるみなさんの交流会
▲集合場所:旧久留女木小学校
浜松市北区引佐町西久留女木63
☎駐車場は旧久留女木小学校へ
☎久留女木竜宮小僧の会 事務局(鈴木一記)
☎090-8869-0398
●参加費/1,000円(要申込)
◎常時喚起を行い、3密にならないよう注意
◎マスクの着用をお願いします。



御殿場市
二子湧水の里
12月上旬~1月上旬
水かけ菜オーナー募集
特産品「水かけ菜」のオーナー募集。1区画(5㎡)2,000円、収穫量は生葉で8kg程度
▲二子公民館 御殿場市二子366-1
☎JA御殿場富士岡宮農経済センター
☎0550-87-1014



森町
森町南部 12月~3月
冬レタスのビニールトンネル風景
景観賞にも選ばれた田園風景が広がる。
▲森町南部全域
☎森町役場産業課 ☎0538-85-6315



Event Calender
邑のイベントカレンダー
2021 autumn



あなたのご意見をお聞かせください
〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail: nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降に掲載させていただきます。
※個人情報、連絡のため以外には使用いたしません。

December 12月~

富士宮市
五感で癒される湧水の里いのかしら
12月4日(土)・5日(日)
保養滞在型の健康プログラムの体験
首都圏及び市内外企業の技術系又は事務系社員対象の自然体験を骨格とした保養型の健康体験プログラム
▲富士宮市猪之頭区内
☎無料(半野区民館駐車場を利用)
☎NPO法人猪之頭振興協議会事務局
FAX.0544-52-0119 (FAXでの問合せに限定)
◎スタッフのマスク着用、消毒、体温管理を実施しています。
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れないお客様は来場をご遠慮ください。

浜松市
和地ふるさと会
12月4日(土)・5日(日) 9:00~17:00
協働センターまつり ※実施検討中
活動の様子をパネル展示。遊休農地を活用して生産した餅米を使った餅つき体験とふるまい
▲和地協働センター
浜松市西区和地町6578 ☎無料駐車場あり
☎和地ふるさと会 事務局(山下昌利)
☎053-486-0089
●参加費無料
◎スタッフのマスク着用を実施しています。
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れないお客様は来場をご遠慮ください。